

市議会だより おおまち

199号

令和7年8月1日発行

6月定例会号



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも見ることができます

特集 | 大町市議会新体制 2 ~ 4 ページ
委員会審査報告 13 ページ
みんなのひろば 16 ページ



表紙写真 |
子どもが覗くおおまち

画像提供者：小澤編集委員（右）
植松編集委員（左上）
太田編集委員（左下）

●表紙の写真を募集します！

特集

大町市議会新体制 新正副議長に聞く

議会の今を伝えたい！

5月8日、5月臨時会において正副議長選挙が行われ、新しい正副議長が就任しました。新体制となった大町市議会の舵をどうとるか、議会運営委員長と情報化推進特別委員会委員長とともに、市議会のこれからについて語っていただきました。

議会の一番の課題は何でしょうか？

傳刀議長 市民の皆さんに議会の活動がうまく伝わっていないことです。

山本副議長 市政に対し、より政策提言をしなければならぬと思っています。

今、言われた課題をどう改革しますか？

傳刀議長 情報発信ツールの改革をしたいと思っています。具体的には、議会だよりのデジタル化の推進や、分かり易いホームページの作成など、少しずつ

改革を進めたいと思います。
山本副議長 各委員会が独自に調査し、委員会で提言するなどして最終的に政策評価、総合計画に対する提言にしていければと思っています。

議会だよりを改革する必要がありますか？

中牧議会運営委員長 議会運営委員長とすれば、ダイナミックに変えていただきたいと思っています。具体的に言えば、読まないで見るだけでわかる議会など、先進的な取り組みをとりいれてでも、改革を進めていただきたい。
中村情報化推進特別委員長 議長がICT、インターネットを

会全体で市民の皆さんに伝わるよう取り込んでいきます。

活用した議会の発信をテーマとして掲げられましたので、私たちの委員会としても、議会・市政への興味の薄い若者たちにも興味をもっていただけるよう、長期的に効果のある改革を進めていきたいと思っています。

チーム大町に対する思いは？

傳刀議長 議員はそれぞれの立場の代表者であります。そういった議員個々の立場をお互い尊重しあってチーム大町を作りたい。
山本副議長 議員16名それぞれが切磋琢磨して、よりよい市政に向けて、チーム大町として議

小澤議会だより編集委員長 今回のお話を通じて、議会の姿をより多くの方に届けたいという思いが強まりました。古い物を見なければ議会に行けという風刺があります。世界はどんどん変わる中、もちろん市議会も変わらなければなりません。残された任期で改革を編集委員皆さんとやりとげます。



山本みゆき
大町市議会副議長

料理研究家。
犬と泊まれる宿を経営。

中牧 盛登
議会運営委員長

議員歴は30年。
趣味は旅行。



傳刀 健
大町市議会議長

行政書士の資格を持ち
3児の父。
家では猫が癒し。

中村 直人
情報化推進特別委員長

議員は2期目。
趣味は文芸、歌。

議会だより編集委員の抱負



副委員長
日本共産党大町市議団
栗林 陽一
今まで以上に読んでもらえる紙面づくりをしていきたい。



委員長
市民クラブ
小澤 悟
手に取って読んでいただけるよう少しずつ改革します！



社会文教委員長
政友クラブ
大竹 真千子
読みたくなる内容を見やすく、読みやすい形でお届けします！



総務産業委員長
無所属クラブ
大和 幸久
「議会だより」は「市民の知る権利を保障する民主主義の原点」を、肝に銘じて取り組みます



無所属クラブ
植松 悠一郎
議会や市政に興味がない層へアプローチしていきたいです。



政友クラブ
中村 直人
まちで「読んだよ!」と声をかけてもらえる紙面をつくりたいです。



無会派
太田 昭司
市民の皆さんのお声を思いをたくさん聞かせたいです。



峻嶺会
一本木 秀章
己を責めて、人を責めるな。及ばざるは、過ぎたるより勝れり





二次元バーコードから動画が見られます。

- Q** 組織文化や風土改革の進捗は。
- A** 職員の自主的対話を通じ課題抽出を実施。(全13回/305名参加)意見を基に、幅広い構成の策定委員会を設け、コンプライアンス推進方針の検討を進めている。
- Q** 職員対話での主な課題は。
- A** ①ルール徹底不足、②報連相不足で一人で業務を抱える、③他部署との連携不足、④業務量過多、⑤人事異動で知識が活かせない等。
- Q** 長野県でも似た課題が抽出され、現在業務改革*「かえるプロジェクト」が推進中。参考にしては。
- A** 規模の違いがありそのままの適用は難しいが、参考にしたい。
- Q** 外部の機関を入れる考えは。
- A** 職員の主体性を前提としつつ、外部機関の知見の導入による改善策



風通しの良い職場づくりに向け交流の場としても検討中の旧食堂

※ 用語解説

※1 かえるプロジェクト (通称：かえプロ)：長野県が2023年に立ち上げた組織風土改革プロジェクトで、県職員が「明るく、楽しく、前向きに」働ける職場づくりを目指す取り組みです。

- Q** 事件発生の原因が納得できない。3年にわたる不祥事の連続は、極めて異常事態である。とってつけたような対応策では、簡単には収まらないと思うがどうか。
- A** これまで不祥事の度、訓令を発出し、法令順守を指示した。風通しの良い職場づくりをお願いしてきた。本年度は行政管理・コンプライアンス推進係を設置し、基本方針の作成に取り組む最中、事件が起きた。信頼回復は容易ではない。



市役所風土を改革せよ

庁内の組織風土改革を急ぎ進めよ

の具体化も検討していきたい。

- Q** コンプライアンス方針策定後の組織への浸透に向けた具体策は。
- A** 策定経過をグループウェア等で可視化し意見を募る。実施計画には行動変容を促す仕組みも盛り込む。

- Q** 内部統制強化策は。
- A** 高リスクの業務から優先順位を付け、チェック表の導入等検討。
- Q** 課題抽出後の次の一手は。
- A** 職員の納得感を得て具体策を実行、市民の信頼回復を目指す。小さな改善を積み重ね職員対話を重視し、実効性ある取組を進める。

政友クラブ
大竹 真千子



明るい庁舎へ



無所属クラブ
高橋 正

- Q** 牛越市長になった当時から職場の風土が少しずつ変わり、現在の大町市役所特有の風土になったと思う。一連の不祥事は、この風土に原因があるのではないか。
- A** 組織風土は組織の雰囲気や価値観など、知らずのうちに培われるものと言われている。近年職員対話の中で、コミュニケーションが不足しているとの意見が出され、職場の心理的安全性が確保されない状況へ変化してきたと思う。そのため自由な話ができる職場に改善し、組織風土を変えることが第一歩と考える。

一般質問

各議員の一般質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができます。二次元バーコードからアクセスしてください。

大町市議会新体制

各委員会 委員の紹介

各委員会の新しい構成メンバーを紹介します。
この新体制で市の課題解決に取り組んでまいります！

◎は委員長、○は副委員長です。

総務産業委員会



中村 直人 堀 堅一 植松悠一郎 傳刀 健
栗林 陽一 ○西澤 和保 ◎大和 幸久 中牧 盛登

社会文教委員会



高橋 正 小澤 悟 二條 孝夫 一本木秀章
宮田 一男 ○太田 昭司 ◎大竹真千子 山本みゆき

議会運営委員会

◎中牧 盛登
○宮田 一男
二條 孝夫
一本木秀章
中村 直人
大竹真千子
大和 幸久

情報化推進特別委員会

◎中村 直人
○西澤 和保
植松悠一郎
傳刀 健
太田 昭司
宮田 一男
中牧 盛登
高橋 正

臭気対策特別委員会

◎一本木秀章
○小澤 悟
堀 堅一
栗林 陽一
大竹真千子
山本 みゆき
二條 孝夫
大和 幸久

議会だより編集委員会

◎小澤 悟
○栗林 陽一
植松悠一郎
一本木秀章
太田 昭司
中村 直人
大竹真千子
大和 幸久



チーム大町で市民の
声をキャッチしてい
きます！



次ページも、一般質問

なぜ議会に報告をしなかったのか



日本共産党大町市議 栗林 陽一

Q 芸術祭期間中の市の通常業務はどうなっていたか。

A 各課に業務に支障がないよう職員数の割り振りを行った。市民サービスに支障が生じているとの声は実行委員会には寄せられていない。

Q 職員の期間中の代休について8週間以内に取得できた人数と取得できなかった場合の対応は。

A 代休を付与された延べ日数は678日、取得された日数は591日。取得できなかった87日分は時間外手当で支給している。

Q 国からの補助金不採択の通知が令和6年4月1日にあった。報告をしなかったのは何故か。

A 他の補助金への申請やクラウドファンディングでの寄附金の募集、パスポートの販売等で自主財源の確

保の余地もあった。実行委員会での収支が固まったのが令和7年1月となり議会への報告が3月議会となった。通常3月の議会で報告や議決を行っている。

Q 三千万円が市の一般財源から出されている。やはり議会や市民に報告するべきだったのではないか。

A 先ほども述べたが補助金の申請や自主財源をより多く確保できる余地があった。また、補助金の採択状況をその都度議会には報告していない。3月議会で補正予算は承認された。



不採択が決まった時点で報告を行うべきだったのではないか

子育て支援に力を入れるべき



市民クラブ 小澤 悟

Q 子ども・子育て支援に関する予算を増やすべきでは。

A 限られた財源の中で子育て支援に取り組んでいる。

Q 子ども・子育て支援の課題は。 **A** 昨年度、出生数が100人を切った。最重要課題は少子化対策である。

Q 令和7年度は目標としている出生数150人という目標を達成できるのか。

A 現時点では相当難しい。

Q 子どもを増やす対策は。

A 安心して妊娠から出産・子育て、さらに働ける環境を切れ目なく総合的に整える。

Q 出産祝い金を増やす考えは無い。 **A** 現時点で増額する考えは無い。当市で子育てしたいと思える

事業を作る必要があると思うが。

A 現在の事業が要望や期待に十分こたえている内容か、費用に對し効果があるか検証し必要に応じて、事業の見直し等を検討する。

部活動地域展開の成功には指導者を増やす事

Q 部活動地域展開の進捗状況と課題は。

A 基本方針及び推進計画を作成。課題は指導者の確保や事務事業の担い手不足、保護者の費用負担がある。

Q 指導者不足に地域おこし協力隊の活用することは可能か。

A 協力隊の活用が一番と考える。



改修中の北部小学校

令和の米騒動はどうして起きた



峻嶺会 一本木 秀章

Q 令和6年産の高騰の要因は。

A 米の高騰の要因については、生産コストの上昇や政府の政策、農業情勢の変化や異常気象による天候不順などの影響が重なり、主食用米の供給量が需要に對しひっ迫する状況となり、結果、価格の上昇となる。

来年からの米対策は

Q 農業の安定した経営を確立できるのか。

A 今年は市場価格と農家が出荷する価格には大きな開きがある。米価格は米市場の需給バランスによって決定し、市場価格はその年の作況や翌年の作付けを見通し、様々な市場参加者の取引集合体により市場価格が形成される。ここ数年の異常気象などにより、^{※2}作況指数と実



5月下旬 → 6月20日

5月末にはなかった米、6月20日には多量の米。どこから出てきた

用語解説

- ※2 作況指数：作物の育ち具合や出来の良し悪しを数値で示したものの。米のふるい目が1.7mm（現状は1.85mm）
- ※3 米の収穫量調査：実際に収穫された米の量（生産量）を調査するもの。

市は教育移住に力を入れよ



政友クラブ 二條 孝夫

Q 少子化のため大町岳陽高校も定員割れとなった。市として地元高校を守るべくできることはないか。

A 地元高校を守るため、連携の強化が大事。中高連携教員を市費で配置、キャリア教育推進の観点からキャリア教育推進協議会を設置している。小中高一貫した連携体制のもと、不登校や支援が必要な生徒について、高校進学後も見守り続けるため、必要な相談や支援を提供する体制をとっている。市としても応援体制の構築を積極的に図っていく。

Q 進学を保証する公営塾、高一貫校、また、岳陽高校の教育目標にある国際化などで高校の特色を出せないか。

A 大町岳陽高校と大町中学校では、中高連携教育を進め系統的な



まち全体が教育に力を入れ、大町岳陽高校を応援しよう

授業を実施している。中高一貫高校導入は難しい。公営塾に関しては運営体制、運営費用及び財源確保など課題が多いが、今後、他の自治体の事例を参考に研究していく。国際化については、異文化交流を通じた人材育成を推進、市として国際化に向けた取り組みの強化に努めていく。

Q 大町市は教育環境が非常に整っている。教育移住を促進し、教育のまちづくりを進めるべきでは。

A 山村留学等を促進し、都会では味わえない体験を通して、都市の児童を積極的に受け入れていく。



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページも、一般質問

第三者委員会設置で信頼回復を



日本共産党大町市議員
宮田 一男

Q 連続する不祥事への対応は。

A 新たな指針の策定や体制の見直しなど個別に対策を講じている。

Q 内部対策を行っても不祥事が連続している。内部対策で改善が図れないのであれば、第三者委員会を設置して、外部からの客観的な観点から不祥事の検証を行うことが、信頼回復につながるのではないか。

A 現在は、第三者委員会による検証は考えていない。まず内部の取り組みを行い、全容が明らかになった段階で必要があれば、第三者委員会等の設置も検討しなければならぬかもしれない。

Q 内部の検証と改善策では効力を発揮していないので、連続して不祥事が起きている。客観的に検証する第三者委員会の設置について検討

すべきではないか。

A コンプライアンス指針をつくる過程で、有識者の声を聞き、必要に応じてアドバイスも受けたい。

地震災害への対応と課題

Q 災害対応時のトイレ確保は。

A 想定する避難者に対して、概ね充足している。

Q 各地での被災地支援の経験から、トイレカーの配備は災害時に有効と考えるが、配備計画はあるのか。

A 災害時を含め様々な場面で活用できるが、費用面など検討する。



諏訪市で実施のイタリア式避難所訓練時に展示された仮設トイレ

市民の負担が3千万円増加した



無所属クラブ
植松 悠一郎

Q 芸術祭の財源である3千万円の補助金が、不採択になったまま開催を迎え、翌年3月にやっと補正予算が提出された。速やかに報告するべきではなかったのか。

A 普段から3月に対応している。

Q 4月1日時点で3千万円の歳入減が確定していることになるが報告の必要はなかったのか。

A 収支が固まったのが翌年1月。その直近の議会に報告した。

Q 収支が固まらなくても3千万円の収入減は確定していたが。

A 普段から3月補正で対応している。

Q 複数の他自治体議員や職員に聞いてみたが、まずは議会に相談はするというのが大筋の返答であった。

割を担っています。自治会の果たす役割を再認識しなどの取組みに対し支援を行い、加入者のけては、団体間の連携強化、市民ボランティア推進する態勢づくりを構築します。
た、市民に開かれた市政の実現を目指すために報提供を行うとともに、市民意見の的確な把握

市の総合計画では、「市民に開かれた市政を目指す」とのこと
(第5次総合計画より抜粋)

用語解説

- ※4 「スナバ」：塩尻市が設置した官民連携の交流拠点。起業や地域づくりに関心のある若者が集い、情報交換や企画立案を行う場で、地域活性化のモデルとして注目されている。
- ※5 カリキュラムマネジメント推進委員会：指導方針や教育課程の改善に向けて協議・研究を行う会議。学校間の連携を深め、地域に応じた教育の充実を図ることを目的としている。

不登校が93名異常事態だ



堀 堅一

Q 学校からの報告書では、不登校の生徒のうち、1件だけがいじめによるものとなっている。当事者である先生や学校の調査報告など到底信じられないがどうか。

A 昨年度、不登校にいじめが関係している事案は確かにあったことを確認した。早期解決に努める。

Q 先生や教育委員会に相談しても、理解が得られないと感じる生徒や保護者については、文科省の勧める警察へのいじめ被害相談を推進すべきだ。更には、警察に学校内の見回りの協力を依頼すべきだ。

A いじめに対する早期対応は問題解決のため重要だ。昨年度はこの事態に、保護者の合意の下で警察に相談して、事態の解決にあたっている。教育委員会としては、現状では

警察の見回りの必要性を感じていない。学校からの要望も現在のところ無い。

山火事について自衛隊との協定が必要だ

Q 消火作業を担う大型ヘリの受け入れには、取水点である木崎湖や青木湖など、地元と協力体制を作るべきだ。

A 取水点の協力協定には緊急時の対応について、事前に協議を行い、理解と協力を頂くことが必要だと考える。



学校で何が起きているのか。不登校生徒激増の責任はどこにある

出生数87人時代のまちづくりは



政友クラブ
中村 直人

Q 「5年以内で次世代にバトンを繋げるかが勝負」とは人口分析報告書の藤山先生の言葉。受け止めは。

A 45年で人口の半分以上が減少。安定化には毎年212人の移住者が必要。

Q 現在の移住者が100人強なので倍の目標だ。数値目標にこだわ

A 早急に数値目標に向かってチャレンジしていく。また、全国

Q 分析では、起業家や若者の交流も重要とされる。どう進めるか。

A 議員が以前の質問で触れた塩尻市の「スナバ」を参考に交流拠点づくりを進める他、次世代のまちづくり人材を育てるため、イベントを行う。



七五三の様子。子供達は地域の宝



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページは、一般質問と意見交換会

給食無償化や子育て施策は



政友クラブ 西澤 和保
にしざわ たかほ

R8年度からの給食無償化に向けた市の取り組みは

Q 政府の方針で、令和8年度から小学校給食無償化が始まるが中学校への対応は。

A 全国市長会でも目的の明確化や国費での措置を求めた決議をしている。中学校への拡大も国の方針を注視し速やかに対処していきたい。

子育てのニーズの把握を

Q 移住定住者や若者・子育て世代への支援策が将来の市のまちづくりの鍵となるが、ニーズの把握を含めた市の考え方は。

A ニーズの把握は重要。「子育てするなら大町に」をキャッチフレーズに、施策に反映させたい。

Q こども家庭センターが設置されたが、保健センター機能と手続きの一体化はいつ実現するのか。

A 組織体制の見直しやDX化も含め、サービス一体化の検討を進めている。

自治会等と連携し危険な空家の調査と改善を

Q 自治会等から危険空家改善の要望があるが把握と対策は。

A 勧告にて解体に至ったケースもある。自治会等と連携し引き続き実態把握と家主への改善指導等を行う。



若者世代や子育て世代への支援策が将来の大町市のカギを握る

市長は職員の人権を守れ



無所属クラブ 大和 幸久
おおわ よしひさ

Q 大町市では重大な不祥事が連続して起こる中、課長級職が送検される事件が起きた。市長が自らの処分を適切に行ってこなかったことが、要因だという指摘がある。

A 令和5年度に起きた事件は、様々な観点から処分している。セフハラ事件は、検討の結果、理事者には責任は及ばないとの観点から、市長の処分は無い。

Q 令和5年6月女団連との懇談会で、「市職員から「あの二人は不倫だったんだよ」という人がいて残念だ。市長はどう思っているのか」と問われ、市長は「事実から申すと、2人は同じ職場だった。私はカンで言っている。それがどういいうわけか、不倫しているかのようになっているのは…不倫なんて言葉は1回も



その場しのぎの言い逃れは通用しない

ひきこもりは「50人に1人」



おおた しょうじ
太田 昭司

Q 大町市のひきこもり状態にある人への支援の課題は何か。

A ひきこもり状態にある方が安心して過ごせる居場所づくり、自らの役割を感じられる機会の提供、そして、ひきこもり当事者やご家族との信頼関係をいかに構築していくかが課題である。また支援者の人材確保やスキル向上も課題である。

Q ひきこもりが長期化するケースでは、すでに当事者が何度か支援を受ける中で誤解や不信感を抱いている場合もある。この場合、専門家や他機関との連携によるアウトリーチ（訪問支援）等の重層的支援体制が必要になるのではないか。

A このような場合、県ひきこもりセンター等の助言や同行訪問等も必要と考える。また支援者のスキル



ひきこもり当事者に寄り添った重層的支援体制の構築が急がれる

大町地区自治会長と市議会議員との意見交換会

令和7年5月23日（木）市役所西会議室にて、大町地区の自治会長と市議会議員との意見交換会が行われました。

- 当日は、
- ・自治会の運営負担をどう軽減していくか
 - ・防犯灯の設置・管理に関する補助金のあり方
 - ・自治会に加入することの「メリット」をどう考えるか
- といったテーマについて、各自治会長や議員から活発な意見が交わされました。

自治会の負担軽減では「会議参加の簡素化」や「役員負担の軽減」など、実務的な工夫について意見が出されました。

防犯灯の設置では、単なる照明の問題ではなく「地域の安心・安全を守る公的な役割」として、行政支援の在り方が議論されました。また、自治会加入の意義について

は、「地域のつながりを実感できる仕組みづくり」や「魅力が伝わるような工夫」が必要だという声も聞かれました。

私たち議会としても、こうした率直なご意見を真摯に受け止め、今後の提言に生かしてまいります。地域の皆さんの声が、よりよい大町市をつくる原動力です。今後とも、自治会・議会・行政で協力してまちづくりに取り組めるよう、意見交換会等も開催していきます。



意見交換会の様子



二次元バーコードから動画が見られます。

追跡レポート

あの質問は
どうなった？

一般質問で「検討する」と答弁があったあの質問。その後の進捗はどうなっているのか追跡調査します。

施設維持には受益者負担も必要

令和6年12月定例会の一般質問

質問

適正な受益者負担も必要

行政費用の節減と市民サービスの公平かつ適正な受益者負担の検討も必要な時期である。

答弁

施設使用料等の見直しを行う

施設管理コスト検討の時期である。使用料改定等の検討を審議会で協議・検討を進める。

進行中

条例案を9月議会に提出する見込み

諮問機関からの答申を受け、維持管理コストを見据えた適正な使用料の見直しを検討中で、9月議会に施設利用等の規定に関する条例案を提出する予定である。

西澤 和保

経費の節減は当然！施設維持には使用料の適正な負担にもご理解を

公共施設に※6ヒアリンググループの設置を

令和5年9月定例会の一般質問

質問

ヒアリンググループの設置を

難聴者が様々な集まりに参加しやすいようにヒアリンググループを設置すべきだ。

答弁

検討していきたい

難聴の方の福祉の向上や利用しやすい施設整備を図るうえで効果があると認識している。

検討中

実施要望が来っていない

現在、公民館などにヒアリンググループ設置の要望が上がっていない。今後福祉課と連携し市民団体等から要望があれば対応をしていく。

栗林 陽一

今後、団体などから要望があれば速やかに対応を進めて欲しい。

用語解説 ※6 ヒアリンググループ：難聴者の間こえを支援する設備

補聴器購入助成制度の実現を

令和4年9月定例会の一般質問

質問

議会の意見書を真摯に受け止めよ

難聴者対策としての補聴器購入費助成について、次年度予算に計上できないか。

答弁

他制度との整合性を考え検討する

高齢者の難聴が解消されることは認知症の予防などの効果が期待される。導入を検討する。

実施済

令和5年度より実施

令和5年度実績、45件の134万円。令和6年度56件の166万円の実績で、他自治体にも誇れる実績である。

宮田 一男

長年の取り組みで実現し、市民からは大変喜ばれています。

議員が質した6月定例会

こんなことが決まりました！

議案第37号
工事請負契約の締結について

■結果 賛成多数で可決

市役所等照明設備のLED照明設備改修工事

議案の概要
市役所等の照明設備をLED照明設備に改修するための工事である。調査から進捗管理業務まで、一括発注方式で実施する。

委員会審査

Q 工事内容は。

A 電灯の数は、合計1734基である。電灯の種類で単価が異なり、当初調査の内容で積算し、それに基づいた応札だ。

A Q プロポーザルの評価方法について、説明を。早期使用開始と利用者への配慮、経費の縮減、環境への配慮の3点で提案いただきそれに基いた評価を行った。

A Q 情報漏えいはないか。あらかじめ上限価格を示しているため漏えいは無い。

議案第38号
大町市長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例制定について

■結果 全会一致で可決

ソフトウェアの使用許諾契約を追加するための条例改正

議案の概要
新たにソフトウェアの使用許諾契約を追加するための条例改正だ。この契約は、商習慣上、複数年にわたって締結することが一般的な契約であり、その契約の性質上、翌年度以降にわたり契約をしなければ事務の取り扱いに支障があること、実施期間中に契約内容に変更が生じる可能性が低いことなどから、長期継続契約とするもの。

委員会審査

Q 非常に高額で、適正か判断しづらい複数年契約では、より判断が難しくなる。どう対応するか。

A 商習慣上、継続契約した方がよいと判断されるものはこの中で網羅していく。情報系のシステムが多くなる見込み。社会情勢、単価の変動が見込まれるものは、単年度契約がよい場合もあり、その都度協議・調整をする。

議案第42号
令和7年度大町市一般会計補正予算（第1号）

■結果 全会一致で可決

市内3保育園、遊戯室にエアコン設置

議案の概要
はなのき、くるみ、あすなろ保育園の遊戯室にエアコンを設置するもの。

委員会審査

Q 今回エアコンを設置する保育園以外のエアコンの設置状況は。

A 今回の3園は児童が50名以上いることから、地震等の際には多くの児童を遊戯室に集めて安全確認等をすることを想定しており、3園の遊戯室に設置するものである。他の小規模な園では、全ての各クラスにエアコンが設置されており、また安全確認等の際には各クラスで行うことを想定している。

次ページは、討論と審議結果

13 市議会だより おおまち 199号（2025年8月）

市議会だより おおまち 199号（2025年8月） 12

令和7年5月臨時会および6月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

議案番号等	案 件	日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ				峻議会	公明	無	結 果							
		宮田 一男	栗林 陽一	大和 幸久	高橋 正	植松悠一郎	中牧 盛登	小澤 悟	山本みゆき	大竹真千子	中村 直人		西澤 和保	二條 孝夫	一本木秀章	傳刀 健	太田 昭司	堀 堅一	
議案第 37号	工事請負契約の締結について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	原案可決	
陳情第 1号	松糸道路Ｃルートに対する大町市の考え方の根拠を明らかにすることを求める陳情	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	不採択
陳情第 2号	北アルプス国際芸術祭 2024 について、国庫補助金（3千万円）不交付のまま強行実施した責任と経緯の検証を求める陳情	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	不採択

◇全会一致で承認・同意・可決・採択された案件

議案番号等	案 件	結 果
報告第5号	専決処分の報告について 専第7号 大町市税条例の一部を改正する条例	承認
報告第6号	専決処分の報告について 専第8号 大町市都市計画税条例の一部を改正する条例	承認
報告第7号	専決処分の報告について 専第9号 大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認
報告第8号	専決処分の報告について 専第10号 令和6年度大町市一般会計補正予算（第10号）	承認
報告第9号	専決処分の報告について 専第11号 令和6年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	承認
報告第10号	専決処分の報告について 専第12号 令和6年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	承認
報告第11号	専決処分の報告について 専第13号 令和6年度大町市水道事業会計補正予算（第6号）	承認
報告第12号	専決処分の報告について 専第14号 令和6年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算（第5号）	承認
報告第13号	専決処分の報告について 専第15号 令和6年度大町市農業集落排水事業会計補正予算（第4号）	承認
議案第36号	監査委員の選任について	同意
議案第38号	大町市長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第39号	大町市ケーブルテレビ放送事業に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第40号	大町市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第41号	大町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第42号	令和7年度大町市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第43号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第44号	大町市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び大町市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第45号	令和7年度大町市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議事第2号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	原案可決
議事第3号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	原案可決
陳情第3号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書提出について	採択
陳情第4号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書提出について	採択

〔訂正とお詫び〕 令和7年5月1日に発行しました「市議会だより198号」にて掲載内容に誤りがございました。誤解を招くこととなり、市民の皆様には深くお詫び申し上げますとともに下記のとおり訂正させていただきます。
198号12ページ中段 議案の概要 3行目
誤：文化振興費について3千万円減額の補正となった。 正：文化振興費について、一般財源から3千万円を補填した。

6月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのか、なぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



議案第37号

工事請負契約の締結について

原案に反対

1社随意契約の公正性は
随意契約は恣意的に契約の相手方や内容を決める危険があり限定される。選定の指標明確化、合理性の説明が必要。（大和幸久）

原案に賛成

契約方法に問題は見当たらない
公募型プロポーザル契約に何ら疑義もなく、行うべき事業は着実に進めなければならない。（西澤和保）

陳情第1号

松糸道路Ｃルートに対する大町市の考え方の根拠を明らかにすることを求める陳情

原案に反対

高規格道路は市の未来における市民の大きな希望
昨年の説明会のアンケートは181件。建設反対の方は4名。なので、陳情には反対だ。（堀堅一）
建設推進への理解も進みつつある
市の考え方は、昨年十一月議会全員協議会の公の場で示され議会として疑義を抱くものではない。（西澤和保）

原案に賛成

松糸道路はなぜＣルートに決定されたのか
決定に至る過程で示された「大町市の考え方」の根拠プロセスを市民に示すことは必要。（宮田一男）
意思決定の過程をハッキリさせる
Ｃルート帯に決定した大町市の考え方の経緯を含めて、市民に説明を行うべきだ。（栗林陽一）
ルート選定に疑問
景観への評価をせず、最も補償金が取れるＣルートが最適と決定。Ｃルート先にありきの説明会をしても、住民は納得しない。（大和幸久）

陳情第2号

北アルプス国際芸術祭2024について、国庫補助金（3千万円）不交付のまま強行実施した責任と経緯の検証を求める陳情

原案に反対

前提として違法性が無い
市民・議会尊重の原則は理解するが、新たな補助金の取得に動いていた事等も踏まえ、求める措置は過大。（中村直人）
明確な「目的」と「信念」を持って開催
国の補助金などなくとも、芸術祭の開催意義は全く揺るぐものではない。（太田昭司）

原案に賛成

国補助金不足分を一般会計から補填は異常
国庫補助金不交付を市民に知らせ、その時点で芸術祭開催形態を検討すべきであった。（宮田一男）
補助金なしで芸術祭を開催した経緯の説明を
補助金の交付が不採択だと分かった時点で、議会・市民に報告が無かったのは問題だ。（栗林陽一）
架空の予算計上
国の補助金が出ないのに、3千万円であると偽りの予算を計上し承認させた。一連の不祥事に匹敵する重大問題だ。（大和幸久）



Vol.30

みんなのひろば

議員が市民のみなさんの声を取材してつくるみんなのひろばです。
今回は新社会人のみなさんにインタビューしました。

- ① 土木施工管理士一級を取得し、大規模な工事の責任者になりたいです。
- ② 好きなブランドの靴を買ったり、祖父母へのプレゼントを買ったりしました。
- ③ 一番は、山がきれいな事。次に白馬が近くて、趣味のスノーボードが楽しめること。



金森建設株式会社

みやた さくたろう
宮田 桜太朗 さん

- ① 薬剤師になったがまだまだ経験が少ない。より一層勉強をして一人前の薬剤師になりたいです。
- ② 貯金と、家族で食事をしました。
- ③ 東京の大学に入学したが、下宿先は大きな通りに面していて、一日中音がうるさかった。大町市は夜も静かで生活がしやすいところ。



大北保険薬局事業協同組合

れんげ薬局
おおつか こゆき
大塚 幸夢希 さん

新社会人のみなさん

- ① 将来の夢
- ② 初任給の使い道
- ③ 大町の好きなところ

- ① 地域の方に信頼される行員になりたい。将来は海外に進出する企業の支援等、国際関連の仕事をしてみたいです。
- ② 両親を旅行につれていって、恩返しをしたいと思います。
- ③ 先日、青木湖のao LAKESIDE CAFEに行きました。カフェから見る湖と山が美しかったです。登山にもチャレンジしてみたいです。



八十二銀行 大町支店

たむら かほ
田村 果歩 さん

- ① 工場の現場で働くこと。今現場で働いて夢が叶ったが現場の厳しさを知りました。新しい夢として一人でもっと仕事をできるようになりたいです。
- ② 一人暮らしをするために貯金をしています。
- ③ 景色が良い所。特に少し雪が残っている北アルプス。



株式会社レゾナック・グラフィック・ジャパン

大町事業所
なかむら なつみ
中村 夏実 さん

■ 次回9月定例会予定 ■

- 開 会 8月26日(火)午前10時～
○一般質問 9月3日(水)～9月5日(金)
○最 終 日 9月18日(木)午前10時～ 討論・採決

■ 傍聴にお越しの際は ■

○傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で
申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

本会議の
生中継

🔍 大町市議会 議会中継



あとかき、
また暑い夏がやってくる。西小学校の桜も、新緑に色付き子どもたちの良い木陰になっている。色々な事が変わろうとしているこの世界で、市議会だよりも、市民が手に取って読みたくなる広報にしなければならぬ。新編集委員長として広報の在り方を真剣に考えている。

(議会だより編集委員長 小澤悟)



議会だより編集委員 【委員長】 小澤悟 【副委員長】 栗林陽一

【委 員】 一本木秀章 太田昭司 中村直人 大竹真千子 植松悠一郎 大和幸久

